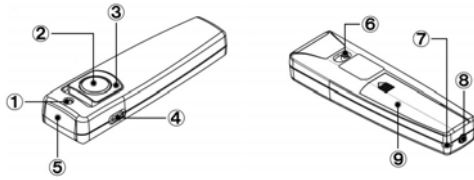


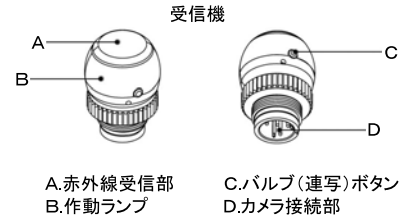
このたびは、デジタル一眼レフ用赤外線リモコン「ツインワンシリーズ」をお求めいただきまして誠にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。

1. 各部名称

※TWIN1シリーズのリモコン部分は、全て同じ物です。



- ① 作動ランプ/ミニライト ② シャッターボタン ③ シャッターボタン(バルブ) ④ 時間差シャッタースイッチ
- ⑤ 赤外線送信部 ⑥ 作動モードボタン ⑦ キーホルダー取付部 ⑧ レリーズケーブル接続部 ⑨ 電池カバー

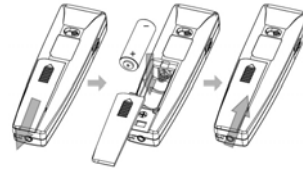


- A. 赤外線受信部 B. 作動ランプ
- C. バルブ(連写)ボタン D. カメラ接続部

2. 電池の装着

- 1. 電池の+・-に注意して装着します(+が下・手前)。
- 2. 電池カバーをはめます(カバーは他の付属品と一緒に小袋に入っています)。

※R4N受信機はカメラ電源で作動します。カメラに接続すると自動的に電源供給を受けます。
 ※R4N受信機の電源は、カメラの電源と連動します。



3. 作動モードの選択

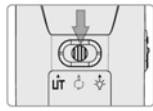
- 1. リモコン裏面の作動モードボタンを確認します。
- 2. 通常は中央の「C」位置にします。
- 3. 左側の「UT」位置はR4Nでは使用しません(受信機が使えないカメラにて使用)。
- 4. 右側の位置にするとリモコンがミニライトになります。
 シャッターボタンを半押しにすると小さく光り、完全に押しと明るく光ります。
 またリモコン側面の「時間差シャッタースイッチ」を●の方へずらしておくと、ミニライトが点滅します。
 ※ミニライトを多用すると、電池の消費が早くなりますのでご注意ください。

受信機が使えない
カメラにて使用



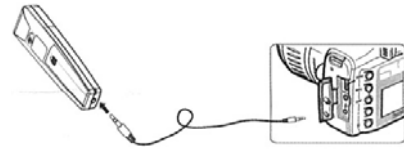
4. ワイヤレスシャッター (受信機を使います)

- 1. ケーブルが接続されている場合は外して下さい。
- 2. リモコン裏面の作動モードボタンを中央の位置にします。
- 3. R4N受信機をカメラのレリーズ端子に取付けます。
- 4. カメラの電源を入れます。
- 5. リモコンのシャッターボタンを軽く押しと受信機の作動ランプが光り、AFの場合はカメラがフォーカスを合わせます(シャッター半押し)。
- 6. リモコンのシャッターボタンを最後まで押しとシャッターがきれます。
- 7. ワイヤレス時にリモコン側面の「時間差シャッタースイッチ」を●の方へずらすと、約2秒遅れてシャッターをきることができます。



7. ケーブルシャッター

- 1. リモコンを付属のレリーズケーブルでカメラと接続します。カメラの接続端子については、お使いのカメラの取扱説明書を御覧下さい。
- 2. シャッターボタンを半押しにするとオートフォーカスが働きます。
- 3. シャッターボタンを完全に押し、撮影します。
 ※ケーブル接続時はリモコンの電池は消費しません。
 ※ケーブル接続時は時間差シャッターやミニライトは使えません。
 ※カメラに接続端子が無い場合は、ケーブルシャッターは使えません。
 ※付属ケーブルの端子は、商品の種類によって異なります。



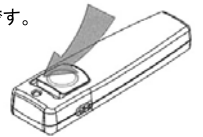
5. ワイヤレスシャッター時のバルブ撮影 (長時間露光) および連続撮影

- 1. R4Nはワイヤレス時のバルブ撮影(長時間露光)が可能です。
- 2. R4N受信機の「バルブ(連写)ボタン」を1度押しと、作動ランプが点滅し、「バルブ・連写モード」に切り替わります。
- 3. カメラのシャッターモードを「B(バルブ)」にします。
- 4. リモコンのシャッターボタンを1度押しと、カメラのシャッターが開きます(開き続けます)。
- 5. リモコンのシャッターボタンを再度押しとシャッターが閉じます。
 ※シャッターが遅れて反応する場合は、「時間差シャッタースイッチ」を●にして下さい。
- 6. 上記「3」で、カメラを「連続撮影」モードにしておくと、連続撮影をすることが可能です。
 ※1度目のシャッターで連写が始まり、2度目のシャッターで連写が止まります。



8. ケーブルシャッター時のバルブ撮影 (長時間露光) および連続撮影

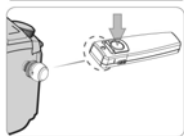
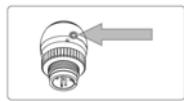
- 1. ケーブルシャッター時にはバルブ撮影(長時間露光)が可能です。
- 2. カメラのシャッターモードを「B(バルブ)」にします。
- 3. シャッターボタンを完全に押し、そのまま押し続けると長時間露光になります。この時、シャッターボタンを前方へ押し上げロックすると、カメラのシャッターは開放のまま固定されます。シャッターを閉じるにはボタンを元へ戻します。
 ※シャッターボタンのロック中は、信号が出続けますので電池消費が早くなります。
 バルブ撮影をしない時は、必ずシャッターボタンを元の位置へ戻して下さい。
- 4. 上記「2」で、カメラを「連続撮影」モードにしておくと、連続撮影をすることが可能です。



6. シンクロ (同期) について

R4Nは、他の同じ製品との混線を防ぐために、リモコン各々が信号が異なっており、商品のセットはあらかじめリモコン(送信機)と受信機がシンクロ(同期)しています。そのため他のリモコンを予備などで使う場合は、使用前に受信機とシンクロさせる必要があります。

- 1. カメラにR4N受信機をつけてカメラの電源を入れます。
- 2. リモコン裏面の作動モードボタンを中央の位置にします。
- 3. 「バルブ(連写)ボタン」を約4秒間ほど押し続けると、R4N受信機の作動ランプが点滅します。このときリモコンを近づけシャッターボタンを押すと、リモコンと受信機がシンクロします(シンクロが成功すると作動ランプが素早く点滅後、消えます)。



10. ご使用上の注意 (リモコン共通)

- ※TWIN1シリーズは赤外線リモコンです。赤外線信号は障害物を貫通しませんので、受信機が完全に隠れている状態ではシャッターはきれません(まわりの物に反射して信号が回りこみ、シャッターがきれる場合があります)。
- ※ワイヤレス時の最大稼働距離は、太陽の光などに影響されます。快晴など天気が良い日は稼働距離が短くなります。早朝・夕暮れや建物内などの薄暗い場所では信号が届きやすくなります。
- ※リモコンの作動ランプが光らなくなった場合は、電池交換を試みて下さい。
- ※リモコンのシャッターボタンをロックしておくと、信号が出続け電池消費が早くなります。ロックは長時間露光のためのものです。長時間露光しない時は、必ずシャッターボタンのロックを解除してください。
- ※TWIN1シリーズは、韓国「セキュライン社」の商品です。
- ※不具合を感じたときは使用をやめ、右記連絡先までご相談ください。

9. 主な仕様

リモコン

ケーブル長さ	約1m	電池	23Aタイプ 12V
サイズ・質量	縦25×横88×高さ17mm 26g(電池含む)		

受信機

ワイヤレス最大稼働距離	約100m
サイズ・質量	縦15×横15×高さ22mm 6g(電池含む)



日本輸入総代理店: ペルボン株式会社
 〒165-0027東京都中野区野方6-1-5 電話: 03-5327-6133

製造・開発元: 韓国セキュライン社
 http://secu-line.com Tel:+82-2-850-3026 / Fax:+82-2-850-3027